



# いしわら

6月号

令和4年5月31日

調布市立石原小学校

校長 江原 幸一

<https://www.chofu-schools.jp/isiwara-sho/>

## 足十年、左十年

校長 江原 幸一

関東地方の梅雨入りはまだのようですが、早い地域では梅雨入りの話題も聞こえてきます。6月は「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」です。人に優しく接すること、いじめをしないことなど指導するとともに、あいさつ運動期間を通じて、あいさつの大切さも指導していきます。自分のことを大切に思う気持ち、自尊感情も学習や行事、日々の学校生活を通して育んでまいります。



本校では5月28日（土）に好天のもと、3年ぶりとなる「運動会」が開かれました。低学年（1・2年）中学年（3・4年）高学年（5・6年）ごとの徒競走と表現、高学年による選抜リレーを行いました。保護者の皆様にも密を避けるため、完全入れ替え制で行いました。子どもたちは「ベストをつくせ！一人一人が輝く運動会」というスローガンのもと頑張った姿が印象的で、素晴らしい運動会となりました。保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

さて、表題にあります「足十年、左十年」とは、日本の伝統芸能である人形浄瑠璃「文楽」における人形遣いの修行にかかる年数のことです。一体の人形を3人で操りますが、最初は足遣い（足を操ること）から始まり約十年、次に左遣い（左手を操ること）となり約十年、その後、人形のかしらと右手を遣う「主（おも）遣い」となり、人形の動きを主導していける立場となります。一人前になるまでには、多くの時間と努力が必要となります。このことは芸能の道でもスポーツや武道の道でも同じことが言えると思います。教師も然り、一人前になるまでにはかなりの時間とそれ相応の経験が必要です。今年度、久しぶりに運動会を開催しましたが、日々の学習指導と並行しながら行う行事の指導とのバランス、数百人の子どもたちを指示のもと一斉に動かすことの難しさ。また、子どもたち一人一人の体力と気力を勘案しながら、モチベーション維持への様々な工夫等々。今回の運動会は子どもたちにとっても学びの多いものとなりましたが、私たち教師にとっても多くを学び確かめる機会となりました。ご理解とご支援をいただきました、保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。

### 教育実習が行われます

6月6日（月）から7月1日（金）までの4週間、教育実習生が2名来校します。配属されるクラスは、3年2組と4年1組です。よろしくお願いいたします。